

ボナンタゴン

アピカホールから
あなたに

Vol.122

2026.10月-1月



チェロ
岡田琢朗

ヴァイオリン
エリーザ・グンマー

ピアノ
コンスタンティン・ルキノフ

11/1 (日)

第166回しばざくらコンサート

ターリストリオ・コンサートツアー2026

西脇公演

一和洋の響きと調和

© Talistrio Management

音楽の話・輪・和・Wa
「続けることの大切さ」

■寄稿 頃安 利秀

新・おんがく談義

二月二十一日
二十八日

「アピカホールに
ベヒシュタインピアノが
やってくる！」

アピカホール開館30周年記念事業

■寄稿 岡田 琢朗

第166回
しばざくらコンサート
ターリストリオ・
コンサートツアー2026
十月一日
西脇公演

西脇市立音楽ホール

Apika
アピカホール

11月1日(日) 15時開演(14時30分開場)

第166回しばざくらコンサート

ターリストリオ・コンサートツアー2026 西協公演

— 和洋の響きと調和 —

ターリストリオ 岡田 琢朗

西協市民の皆さまへ

2026年11月1日(日)、日独混成アンサンブル「ターリストリオ」が、2年ぶりに西協へやって参ります。「今回」のテーマは、「和洋の響きと調和」。ドイツを拠点に欧州で活動するピアノトリオが、日本と西洋それぞれの音色に宿る鼓動、情景、精神の相違を響かせながらも、それらが強烈に共鳴し合う、その瞬間をお届けします。

西洋音楽には、感情の激しい衝突や壮大でダイナミックな展開の中に、人間の喜びや苦悩を描き出す力がある一方、日本の音楽や詩情には、抒情性やはかなさ、そしてその美しさが息づいています。今回の公演では、そうした東西の表現がひとつの舞台で出会い、重なり、時に対話しながら、新たなアートシーンを生み出します。音と音が交わる醍醐味、異なる文化がぶつかりながらも調和へ向かう過程を、ぜひ会場で体感してください。

演目には、歴史の中に刻まれた悲劇と平和への願い、大陸的なスケール感、そして繊細な日本的情緒を感じさせる作品をラインナップ。また今回は、西協を代表する地場産業・播州織の織機の音を用い、機械音を単なる効果音ではなく、「共演者」として迎えた全く新しい作品も披露されます。地域に息づくも

のづくりの響きが、ドイツ由来の音色と交わることで生まれる、この土地ならではの極めて斬新な音楽体験。さらに今回は、合唱を通じて市民の皆さまと音楽を分かち合う企画も予定されています。作曲家・石若雅弥氏による合唱レクチャーを経て、コンサート当日の舞台では、朝ドラ「ばけげん」でおなじみの「笑ったり転んだり」の合唱、そしてターリストリオとの共演による日本のうた「椰子の実」が演奏されます。聴くだけでなく、歌うことを通して舞台に参加できるこの機会は、地域の音楽文化をより身近に感じていただける貴重な場となることでしょう。

ターリストリオは、ドイツと日本を結ぶ活動を重ねてきたアンサンブルです。異なる背景を持つ奏者たちが、互いの感性をぶつけ合いながら磨き上げてきた音楽には、国境を越えて人と人を結ぶ力があります。今回の西協公演でも、クラシック音楽に親しんでいる方はもちろん、普段コンサートに足を運ぶ機会の少ない方にも、音楽が語りかける豊かな物語を感じていただけるはずです。

秋深まる西協で、和と洋、過去と現在、そして演奏者と聴衆が響き合うひとときをご一緒しませんか。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

プログラム

- ♪石若雅弥指揮による合唱
「笑ったり転んだり」(ピアノ：大谷幸)
- ♪石若雅弥作曲
「For Japanese Seasons (ピアノトリオ作品)」
- ♪A. ババジャニアン作曲
「ピアノトリオ」
- ♪K. ルキノフ作曲
「播州織と新たな地平」
- ♪F. メンデルスゾーン作曲
「ピアノトリオ第1番二短調Op.49」
- ♪ターリストリオ共演による合唱
「椰子の実」



石若 雅弥

出演 TALISTRIO — ターリストリオ
岡田 琢朗 (チェロ)
エリーザ・グンマー (ヴァイオリン)
コンスタンティン・ルキノフ (ピアノ)
石若 雅弥 (作・編曲/合唱指揮)
石若雅弥特別合唱団 (公募有志)
大谷 幸 (合唱ピアノ伴奏)



©Talistrion Management

お問い合わせ・チケット予約は
アピカホールまで!!

入場料

一般 3,000円
高校生以下 1,000円

ターリストリオ プロフィール

TALISTRIO (ターリストリオ) は、エリーザ・グンマー (ヴァイオリン)、岡田琢朗 (チェロ)、コンスタンティン・ルキノフ (ピアノ) による、ドイツ・アウクスブルクを拠点とするピアノ三重奏団である。2012年のデビュー以来、その演奏はドイツ国内大手各紙より「驚嘆」「感嘆」と称えられ、深い濃密さと卓越した技巧、多彩な音色、細部にまで息づく緻密な精神性によって高い評価を築いてきた。欧州と日本の著名ホールにおいて聴衆を魅了し続け、2026年にはハンプルク国際パッサム音楽祭へ出演。西協公演は今回で4回目を迎え、日独交流を体現する存在として、その芸術的歩みは、いよいよ豊かな広がりを見せている。

アピカホール開館30周年記念事業 『アピカホールにベヒシュタインピアノがやってくる!』

2027年2月21日(日) 14時開演

2027年2月28日(日) 14時開演

中安修也&大西隆弘
2台ピアノのひととき

ピアノ・デュオ・コンサート
～弘中 孝氏 とともに～

アピカ西脇は、平成2年に廃線となったJR鍛冶屋線の跡地に建てられたツインビルです。その南棟2階にアピカホールはあります。ホールには、開館を記念し地元企業の半導体メーカー、KTIセミコンダクターから寄贈された「スタインウェイ&サンズ社製(ドイツ)フルコンサートピアノD-274」があります。幼児から高校生までのリトルピアニストが日ごろの練習の成果を披露するコンサートをはじめ、国内外の一流ピアニストの演奏会など、これまで様々な演奏会で親しまれてきました。

ホール主催公演で他のピアノが登場したのは2011年1月ピアニスト内田美苗さんが「ベーゼンドルファー(オーストリア)」を運び入れたコンサートでした。雪の降る中、2階のホール搬入口へクレーンで運び込んでくださったことが昨日のこのように思い出されます。この日、演奏されたピアノは、通常の88鍵より低音側に音の多い97鍵のインペリアルモデルでした。

この度、30周年記念コンサートの計画をしていく中で、ホールに係わってくださっている方々の御縁とお力添えが実を結び、「C.ベヒシュタイン(ドイツ)コンサートD-282」をお借りできることとなりました。ベヒシュタインピアノは、リスト、ブラームス、ドビュッシー、ラヴェル、ラフマニノフ、バルト

ーク、ブゾーニなど偉大な音楽家に愛されたドイツの名器です。

そこで2月には、ホール所有のスタインウェイピアノとベヒシュタインピアノの2台による夢のような企画を予定しています。

まずは2月21日に(公財)兵庫県芸術文化協会助成地域で親しむ舞台芸術応援事業「中安修也&大西隆弘 2台ピアノのひととき」を開催します。演奏者が長年温めていたモーツァルト、チャイコフスキー、ラフマニノフ、ガーシュイン作曲の2台ピアノ作品によるプログラムをご堪能ください。

翌週2月28日には、ホールの育成事業の核として25年に渡り取り組んできたピアノ・デュオ・コンサートの集大成として、連弾の楽しさをみんなで分かち合う特別企画を開催します。第一部は、選出された連弾ペアによるベヒシュタインピアノによる演奏、第二部は、弘中孝氏とピアノ・デュオ・コンサートの出演経験者による2台ピアノ演奏で構成します。

コンサートの他にもピアノの歴史などに触れるレクチャー企画や、2台ピアノの弾き比べ企画なども予定しています。ピアノの音色はもちろん、ホールの響きもご堪能いただけます。この機会に、ぜひホールでお過ごしください。

ピアノ・デュオ・コンサート ～弘中 孝氏 とともに～

連弾出演ペア募集

“音楽ってこんなに楽しいんだ”

特別なステージで演奏してみませんか?

申込期間	9/1(火)～11/19(木)
選考会	12/19(土)
コンサート	2/28(日)

募集内容 第一部のピアノ連弾による出演者を募集します。

対象 子どもと指導者の部

兵庫県在住でピアノを習っている小学1年生から高校3年生までの生徒とその指導者による連弾。

※指導者は県外在住でも可能。

大人の部 18歳以上の方による連弾。

募集組数 5組程度

選出方法 応募者の中から選考会により選出します。

選考会 と き 2026年12月19日(土)

ところ 西脇市立音楽ホール「アピカホール」

演奏曲 コンサートで演奏する曲

※5分から10分以内の自由曲

※複数曲可

※ポップス曲不可(詳細はお問い合わせください。)

選考者 弘中孝氏、地元出身ピアニスト

参加料 選考会 4,000円/1組

※選出された方は、コンサート負担金として別途10,000円をご負担いただきます。

使用ピアノ 選考会：スタインウェイピアノD-274

本番：C.ベヒシュタインコンサートD-282



この企画の大きな狙いは「音楽を楽しんでもらう」ことです。一人で演奏するよりも、二人でアンサンブルをした方が楽しいに決まっています。先生と共に演奏し、より幅のある音楽が作れます。自分が今まで感じなかった音楽が共演者の先生によって引き出されます。“音楽ってこんなに楽しいんだ”と実感してほしい。そして人と協調して作る楽しさ、素晴らしさを、肌で体験してほしいと願っています。

「第九」を歌う合唱団へのエール

声楽家（テノール） 頃 安利秀

今年は、世界各地で酷暑、豪雨、干ばつ、山火事、大地震などの自然災害が相次ぎ、さらにウクライナやイランでの戦争も終結の見通しが立たない、苦しみの多い年になりそうです。そうした時代にあって、音楽が傷ついた心を少しでも癒し、人々に生きる勇気を与えてくれることを願わずにはいられません。

日本では今年も暮れになると各地でベートーヴェンの「第九」が演奏されます。今回の音楽談義は、その「第九」を歌おうとする合唱団、とりわけアマチュア合唱団の皆さんへのエールです。

ベートーヴェンは「第九」と同じ頃、最後の宗教曲である「荘厳ミサ曲」も作曲しています。「第九」のウィーン初演では、その抜粋が「第九」に先立って演奏されました。「荘厳ミサ曲」のキリエの冒頭には、ベートーヴェン自身の手で「心から出で、願わくは再び、心へと至らんことを」という言葉（図1）がドイツ語で記されています。これは、音楽が単なる形式や技術を超え、作曲者の真実の祈りから生まれ、聴く人の魂へ届いてほしいという願いを表したものです。「第九」もまた、同じ祈りから生まれた作品であったに違いありません。

「第九」の第4楽章、いわゆる「歓喜の歌」の合唱パートは、指揮者や音楽学者からも



図1 ベートーヴェンの言葉

「器乐的すぎる」「人間の声の限界を無視している」と指摘されてきました。とりわけアマチュアの合唱団員にとっては、過酷な高音や複雑なフレーズが続き、正確に歌い切めることは容易ではありません。特にソプラノには高いラの音が長く続き、言葉を明瞭に発音することすら難しい箇所があります。全国で「第九」に挑む合唱団には高齢の方も多く、楽譜通りに完璧に歌うことは、ほとんど不可能に近いと言ってよいでしょう。

しかし、ベートーヴェンが求めたものは、単なる音程の正確さではなかったのではないのでしょうか。彼は弟子のチェルニーに、「音を間違えることは大したことではないが、情熱なしに弾くことは許されない」という趣旨の言葉を残しています。私たちが音楽に感動するのは、音が正しいからだけではありません。その音を出すために、演奏者がどれほどの情熱とリスクを背負っているかを感じ取るからです。人が音楽を聴いて涙するのは、音そのものの美しさだけでなく、技術の限界の先で一人の人間が魂を震わせ、何かを伝えよ

うとする生き様に触れるからなのです。

「第九」でベートーヴェンが表現しようとした人類愛や歓喜は、人間の技術的限界を超えたところにあるのかもしれません。彼はあえて、整然と美しく歌える範囲を超え、叫びに近づくぎりぎりの領域を使い続けました。体中のエネルギーを絞り出さなければ歌えない跳躍や高音だからこそ、そこに日常を超えた熱量が生まれます。それは「人類愛」や「天からの歓喜」という、普通の言葉や美しい旋律だけでは表しきれない感情を伝えるための手段だったのでしょう。

第4楽章の終結部に現れるDiesen Kuß der ganzen Welt（図2）、すなわち「この歓喜の接



図2 der ganzen Welt

吻を全世界の人々へ」という言葉は、苦難を乗り越えた先にある歓喜を、すべての人々に届けたいというベートーヴェンの叫びです。



プロフィール 頃 安利秀（ころやす としひで）

多可郡多可町八千代区出身。

関西学院大学文学部美学科を経て東京藝術大学声楽科を卒業。1982年にドイツ・デトモルト音楽大学に留学し、1985年よりチューリッヒ歌劇場、1988年よりバイエルン放送局の合唱団員として専属契約。またテノール独唱者としてもヨーロッパ各地で活躍。1991年に帰国、鳴門教育大学に着任し、2024年3月まで同大学教授として教育活動が続ける。鳴門教育大学名誉教授。現在、多可町中区に在住、北はりま第九合唱団や合唱団「コーロ・キアーロ」等の合唱や発声の指導を行っている。

最後に合唱が歌うFreude, schöner Götterfunken!（図3）、すなわち「歓喜よ、美しき神々の

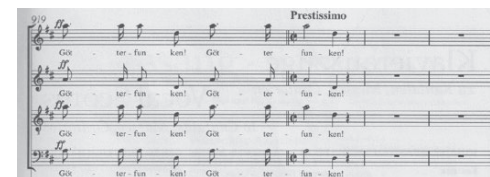
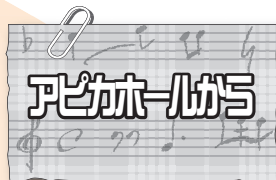


図3 Götterfunken!

火花よ」というところでは、ソプラノやテノールに限界ぎりぎりの高音を求めています。そこには、演奏のしやすさよりも、祈りや人類愛をいかに強く響かせるかを優先した作曲家の意志があります。彼はオーケストラを限界まで鳴り響かせ、その音圧をさらに突き破る最強の楽器として、人間の声を交響曲に導き入れました。不可能に思える高音に全員が必死で喰らいつき、声を合わせようとする瞬間、ステージには凄まじい一体感とエネルギーが生まれます。そこにこそ、「第九」を歌う合唱団の尊さがあります。完全でなくてもよい。魂を込めて歌おうとするその姿こそが、ベートーヴェンの祈りを現代に伝える力なのです。ご健闘をお祈りします!!!



月コンサートのお知らせ月

楽しい音楽の時間を一緒にいかがですか？

トランペット・ファゴット・ピアノによる

“冬の音楽会”

～ふるさとから、心を込めて～

トランペット 藤田 小津枝

30年以上前、西脇南中学校吹奏楽部でトランペットに出会いました。希望の楽器は全て外れ、顧問の先生から言い渡されたのは、まさかのトランペット。今、振り返ると、この時の偶然が私の音楽の扉を開いてくれたように思います。12月にトランペット、ファゴット、ピアノで、音楽会を開催します。思い出の詰まったアピカホールで演奏が出来ることを嬉しく思います。師走のひととき、是非、ご来場下さい。

12月6日(日)

14時開演 (13時30分開場)

入場料

一般 2,000円
高校生以下 1,000円

クラシックの名曲や
クリスマスキャロル
などを演奏します♪



昨年アピカホールにて撮影

ご存知ですか？

月アピカホールおでかけコンサート月

幼児期の子どもたちを対象として、2004年度から開催している「アピカホールおでかけコンサート」。

子どもたちが生の音楽を身近で鑑賞し、「音楽を通じて、広く芸術文化に興味・関心を抱く機会を提供すること。」を目的としています。開催当初は、市内各幼稚園(現・こども園)を訪問し実施していましたが、2011年度から子どもたちをアピカホールに迎えて実施しています。

これまでに多くの演奏家が幼稚園・こども園の皆さんと一緒に音楽を楽しんできました！

今年は12月7日(月)に市内各園、5歳児クラスをお迎えして開催いたします。

出演 藤田 小津枝(トランペット)、常田 麻衣(ファゴット)、天野 圭子(ピアノ)



令和8年度優秀映画鑑賞推進事業

新春 アピカ名画座

～35mmフィルムで昭和の青春映画を！～



2027年1月10日(日) 入場料 各回1,000円(駐車場代別途)

主演、酒井和歌子の可憐な魅力を！

山口百恵主演映画第1作！

10時

「めぐりあい」



(1968年・恩地日出夫・東宝・91分・CS)
出演＝酒井和歌子 黒沢年男 田村亮 ほか
時代の波や家族の重圧にもまれながらも、ひたむきに生きてゆく若者像を鮮烈に描き出した作品。

14時

「伊豆の踊子」



(1974年・西河克己・東宝＝ホリプロ・82分・CS)
出演＝山口百恵 三浦友和 中山仁 ほか
青春小説の名作として知られる川端康成の同名小説の映画化！

宿泊・宴会・レストラン

皆様を心よりお待ちしております

西脇ロイヤルホテル

Daiwa House Group®

〒677-0015 西脇市西脇 991
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

詳しくはオフィシャルホームページで
▶▶▶ <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp> 西脇ロイヤルホテル 検索

総合建設業 一級建築士事務所
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.

和気建設 株式会社

☎677-0018 西脇市富田町36
電話 0795-22-5651(代)

和'on Music Studio

1F 和'on Music Studio

音楽教室 Music School

レンタルスタジオ Rental Studio リハーサル・発表会・サロンコンサート等

2F 一般社団法人 Oto 倶楽部

コンサート・伝統文化体験イベント企画制作 / レコーディング・CD・PV企画制作
マネジメント：和楽器オーケストラあいおい / 和魂洋才楽団 Oto Kazze

〒670-0896 兵庫県姫路市上大野 6-5-12
TEL 079-227-4585

E-MAIL info@wa-on.biz
<https://wa-on.biz/studio>



親の行動力と周囲の方々の支えで、神戸までレッスンに通い大阪音楽大学に進学、卒業

業。その折には、アピカホルのフレッシュコンサートにも出演させていただきました。緊張しながら、少しでも良い音が届くように角度を調整して演奏したことを、今でもよく覚えています。

卒業後は大学時代の友人とアンサンブルを組み、大阪を拠点に活動を始めました。紆余曲折を経て、自分たちでプロの吹奏楽団を立ち上げるという思い切った挑戦にも踏み出しました。決して順風満帆ではありませんでしたが、それでも続けてこられたことが、何よりの財産です。

何十年ぶりに友人に再会した時、「今も演奏していることが本当に嬉しい」と心から喜んでくれました。そして「続けることの大切さ」を語

編集後記

今回のボナンタゴンには『アンサンブル』に関する記事が満載です。ピアノトリオ、ピアノ連弾、トランペット・ファゴット・ピアノによるコンサート、催しガイドには、「アピカ・アンサンブルコンサート」の掲載もあります。着物や洋服でも『アンサンブル』の言葉を聞きますが、音楽では「2人以上の歌や楽器での“合奏”あるいは“グループ”」をさすようです。アンサンブルで音が綺麗に重なると心も通い合うようになるのがいいですね！ちょっとオシャレしてアピカホールへご来場ください。(yoshio)

音楽の話・輪・和・Wa

「続けることの大切さ」

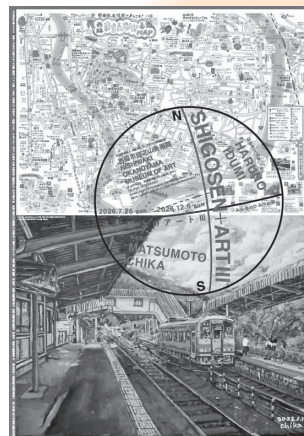
岡原 さつき

小学6年生の時に西脇市吹奏

楽団と黒田庄中学校の合同演奏を聴き、吹奏楽部に入ろうと決心し入部。そこで出会ったトランペットとは、気づけば今も変わらず寄り添い続けています。幼い頃から音楽が好きで、「ピアニストになりたい」と安易に書いた将来の夢でしたが、それがいつしかトランペットへと移り変わり、今ではプロとして活動しているのですから、人生は本当に不思議です。

●本館ギャラリー

第37回企画展「子午線上のアートⅢ」展 ～12月6日(日)



展覧会ポスター デザイン：横尾忠則

入館料

大人300円(250円)、65歳以上250円(200円)、
高・大学生200円(150円)、小・中学生100円(70円)
※()内20名以上の団体割引料金
※障がい者割引有
※コロナカード利用可
※にしわき経緯度地球科学館「テラ・ドーム」との共通券有
※割引を受けられる方は、証明できるものをご提示ください。

子午線が通る地域で活躍する芸術家の作品とその仕事を紹介する「子午線上のアート」展シリーズの3回目の展覧会。西脇からは、イラストレーターはるのいつみによる地図とグラフィックワークを紹介し、淡路からは、鉄道絵画や生まれ育った朝来市生野をはじめ、人々の記憶に残る風景を絵に残す松本知佳の作品を展示しています。

第38回企画展

「にしわき横尾忠則コレクションⅣ」展 12月20日(日)～2027年3月22日(月・祝)

●アトリエ

アトリエ展

近隣地域で活躍する美術家の個展を開催しています。

VOL.6 イヌイマサノリ 展 (イラスト)
9月29日(火)～11月1日(日)

VOL.7 永井 望 展 (絵画)
11月3日(火・祝)～12月6日(日)

※アトリエ入館無料 ※会期の最終日は午後1時まで。

<https://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

西脇市岡之山美術館

〒677-0039 兵庫県西脇市上比延町345-1

開館時間 午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日曜の場合は除く)

展示替期間…12月7日(月)～19日(土)

年末年始…12月28日(月)～1月4日(月)

貸館応援! 催しガイド+^{プラス}

秋の連弾 Concert

～鳥越由美先生と共に～

11月29日(日)

14時開演(13時30分開場)

主催：Con Anima

アピカホールで有料コンサートを企画している個人または団体主催のコンサート内容を掲載できるコーナーです。

次号1月1日発行 (vol.123)

申込締切

11月1日までに必要書類である「利用許可申請書」、「催しガイド+ (プラス) 概要」を提出してください。

必要書類はアピカホールにありますので、ホールスタッフとご相談の上ご記入ください。応募多数の場合は抽選です。

「ベビシュタインをこよなく愛するピアニスト鳥越由美」の奏でる透明感のある音楽に魅力を感じて、毎月勉強会を開いています。“全身で音楽を伝えよう”と、笑顔の絶えない魅力的な時間です。

本公演は、鳥越氏との連弾でピアノアンサンブルの魅力を味わっていただきます。

『14ひきのあさごはん』は、音楽の中に絵本の朗読を組み込んだ心躍るプログラムです。ぜひ会場でご体験ください。

鳥越氏のソロでは、「ピアノランド」の樹原涼子氏との出会いから影響を受けた、あたたかみあふれる音色の演奏をお楽しみください。



アピカホール

催しガイド

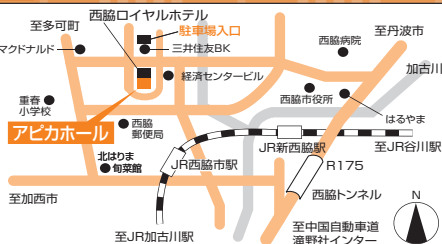
10月～1月

アピカホール開館30周年記念事業

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日) 年末年始12月29日(火)～1月3日(日)

月/日(曜日)	催 物 内 容	時 間	入 場 料 等	主 催・問 合 せ	特 記 事
10/3(土)	第166回しばざくらコンサート関連事業 石若雅弥氏 合唱レクチャー	9:00～11:30	事前申込者	アピカホール ☎0795-23-9000	P2～3
10/4(日)	小西達也コンサート2026 in 西脇	14:00開演 (13:30開場)	一 般 2,000円 中学生以下 1,000円 (自由席)	ゆめぶらん・小西達也 ☎079-235-6185 武部 恵子 ☎090-7884-1024	
10/18(日)	女声アンサンブル 百音コンサートIX	14:00開演 (13:30開場)	小・中学生 800円 高校生以上 1,000円	福岡 玲伊子 090-7884-3285	
11/1(日)	第166回しばざくらコンサート ターリストリオ・コンサートツアー2026 ～和洋の響きと調和～	15:00開演 (14:30開場)	一 般 3,000円 高校生以下 1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P2～3
11/8(日)	弦楽合奏団 Nature Ensemble ～Nature de classic～	14:00開演 (13:30開場)	前 売 2,000円 (当日券500円増) 中学生以下 1,000円	西山 枝里 0795-22-3141 (日の出精肉店)	
11/22(日)	西脇工業高校吹奏楽部 パレットコンサート	14:00開演 (13:30開場)	無 料	西脇工業高校 0795-22-5506	
11/29(日)	秋の連弾Concert ～鳥越由美先生と共に～	14:00開演 (13:30開場)	1,000円 小学生以下 無料	Con Anima 服部090-3940-8524 楠090-1134-8152	P11
12/6(日)	トランペット・ファゴット・ピアノによる “冬の音楽会”	14:00開演 (13:30開場)	一 般 2,000円 高校生以下 1,000円	藤田 小津枝 090-2110-8815 アピカホール ☎0795-23-9000	P8
12/12(土)	第29回 アピカ・アンサンブルコンサート	午 後 (決定次第HPでお知らせ)	無 料 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	
12/13(日)	第14回 Piano Concert	13:00開演	関係者	岩崎 幸	
12/27(日)	第32回 クリスマスコンサート	12:30開演	関係者	服部 文子	
2027 1/10(日)	令和8年度優秀映画鑑賞推進事業 新春 アピカ名画座 ～35mmフィルムで昭和の青春映画を！～ 「めぐりあい」「伊豆の踊子」	10:00 「めぐりあい」 14:00 「伊豆の踊子」	各回1,000円 (駐車場代別途)	アピカホール ☎0795-23-9000	P9

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇市役所行き
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR加古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線
を北へ約15分。

■編集：ポナタゴン編集委員会

■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」
ポナタゴン：こんにちは
(エスペラント語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991
TEL (0795)23-9000 FAX (0795)23-9031
<https://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2026年8月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナタゴン 検索 ホームページでもご覧いただけます。